

2007年12月26日

「子ども手当法案」の提出について

民主党

1. 提出の趣旨

2007年参院選マニフェスト「3つの約束」の一つとして掲げた「子ども手当創設」の具体化。

民主党は、チルドレンファーストの方針を掲げ、子どもの育ちを応援するための様々な政策立案に取り組んできた。自民党政権下での、労働力や年金の担い手確保のための少子化対策ではなく、子ども一人ひとりの視点に立ち、子どもが安心して育つことのできる社会の実現を目指している。

日本の未来を担う子どもたちの育ちを、社会全体で応援するというメッセージを伝えたい。

2. 概要

現行の児童手当制度を改め、中学校修了までの子どもに、一人あたり月額2万6千円の「子ども手当」を支給するもの。

支給に必要な費用は、全額国庫負担とし、出生順位にかかわらず皆同額の手当額とし、保護者の所得制限を設けていない。